



2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年7月27日

上場会社名 日立建機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6305 URL <https://www.hitachicm.com/global/jp/>
 代表者 (役職名) 執行役社長兼CEO (氏名) 平野 耕太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 井戸 治子 TEL 03-5826-8152
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・報道機関向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		調整後営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社株主に 帰属する 四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	170,157	△27.5	2,940	△87.2	1,787	△91.7	1,194	△92.3	201	△98.5
2020年3月期第1四半期	234,696	△2.3	22,902	△17.0	21,626	△13.6	15,538	△15.1	13,646	△13.1

(重要) 当社は「営業利益」に代え、「調整後営業利益」を連結経営成績に関する指標として用いています。

「調整後営業利益＝売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費」により計算しています。

	基本的1株当たり 親会社株主に帰属する 四半期利益	希薄化後1株当たり 親会社株主に帰属する 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.95	0.95
2020年3月期第1四半期	64.17	64.17

(参考) 持分法による投資損益 2021年3月期第1四半期 105百万円 2020年3月期第1四半期 713百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社株主持分	親会社株主 持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,155,878	529,407	476,273	41.2
2020年3月期	1,167,567	525,111	473,537	40.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	36.00	—	24.00	60.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

2021年3月期の中間・期末配当予想額は未定です。

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後営業利益		税引前当期利益		親会社株主に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 親会社株主に帰属する 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	770,000	△17.3	40,000	△47.8	34,000	△49.3	20,000	△51.4	94.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	215,115,038株	2020年3月期	215,115,038株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,462,089株	2020年3月期	2,461,867株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	212,653,069株	2020年3月期1Q	212,654,664株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(3) 財政状態に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	
要約四半期連結損益計算書	7
要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結グループは、中期経営戦略の方向性として、これまで取り組んできたバリューチェーン事業をさらに強化させるため、デジタル技術を活用し、お客さまとのあらゆる接点において深化したソリューションを提供するとともに、変化に強い企業体質への転換に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）の売上収益は、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の影響による市況悪化を受けた油圧ショベル需要の減少、ならびに、前年度と比較し円高基調で推移した為替の影響などにより、当社が注力するバリューチェーン事業のうちレンタル売上は前年同期比で増加となったものの、1,701億5千7百万円（前年同期比△27.5%）と大幅な落ち込みとなりました。

連結の利益項目については、売上収益の減少、為替の円高影響等により、調整後営業利益は29億4千万円（同△87.2%）、親会社株主に帰属する四半期利益は2億1百万円（同△98.5%）となりました。

各セグメントの業績は次の通りです。

①建設機械ビジネス

当第1四半期連結累計期間における油圧ショベル需要は、中国・日本を除く地域で前年同期を大幅に下回りました。またマイニング機械の需要も鉱山会社による新規の設備投資が抑えられ、特に中小規模鉱山会社からの需要が大きく減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は、ダンプトラック・レンタル・中古車は増加したものの、COVID-19の影響による市場の減速に伴う新車販売の減少や為替の円高影響等を受け、1,502億2千3百万円（前年同期比△28.9%）となりました。

この売上収益の減少に伴い、調整後営業利益は、9億6千3百万円（同△95.4%）となりました。

②ソリューションビジネス

当事業は、主としてマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品サービス事業を行うBradken社とサービスソリューションを提供するH-E Parts社で構成されています。

当第1四半期連結累計期間の売上収益は、COVID-19の影響による需要減少や為替の円高影響があり前年同期比で減少はしたものの、マイニングを中心とする根強い保守サービス需要に支えられ、203億7千7百万円（同△15.2%）となりました。

調整後営業利益は、事業構造改革の効果はあったものの、売上収益の減少や円高影響で、19億7千7百万円（同△8.7%）となりました。

なお、上記、①②の売上収益については、セグメント間調整前の数値です。

販売先地域別の売上収益は以下の通りです。

(単位：百万円)

		前第1四半期 連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日		当第1四半期 連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年6月30日			
		売上収益 (A)	構成比 (%)	売上収益 (B)	構成比 (%)	増減額 (B) - (A)	増減率 (B)/(A) - 1 (%)
米州	北米	47,135	20.1	27,908	16.4	△19,227	△40.8
	中南米	3,750	1.6	2,807	1.6	△943	△25.1
		50,885	21.7	30,715	18.1	△20,170	△39.6
欧州		28,231	12.0	13,548	8.0	△14,683	△52.0
ロシアCIS・アフリカ・中近東	ロシアCIS	10,060	4.3	4,311	2.5	△5,749	△57.1
	アフリカ	8,314	3.5	6,200	3.6	△2,114	△25.4
	中近東	1,714	0.7	3,339	2.0	1,625	94.8
		20,088	8.6	13,850	8.1	△6,238	△31.1
アジア・大洋州	アジア	16,742	7.1	9,197	5.4	△7,545	△45.1
	インド	13,424	5.7	4,779	2.8	△8,645	△64.4
	オセアニア	37,975	16.2	33,086	19.4	△4,889	△12.9
		68,141	29.0	47,062	27.7	△21,079	△30.9
中国		26,475	11.3	25,050	14.7	△1,425	△5.4
小計		193,820	82.6	130,225	76.5	△63,595	△32.8
日本		40,876	17.4	39,932	23.5	△944	△2.3
合計		234,696	100.0	170,157	100.0	△64,539	△27.5

(百万円未満は四捨五入して表示しています。)

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の油圧ショベル需要見通しは、今後もCOVID-19の影響に伴う市場の減速が続き、多くの地域で前年度の需要を大きく下回り、前回5月公表時の見通しの通り、世界全体で約16万6千台（前年比△23%）となるものと現時点では想定しております。

マイニング機械においても世界的な景気不透明感からお客様の新規投資は抑制傾向が強まると予想され、新車需要は減少すると見えています。一方で、鉱山の操業においては、一部地域では稼働停止となっている現場がありますが、社会インフラを支える事業（Essential Business）として引き続き稼働中の国や地域もあり、当社の部品サービス事業やソリューションビジネスも、マイニング会社の機械・設備に関する保守サービス需要は根強くあると見えています。

以上の市況予測を踏まえ、2021年3月期連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）は、COVID-19の拡大に伴う需要減少の影響や、現時点でのその他さまざまな懸念材料を勘案し、2020年5月28日に公表した連結業績予想を据え置きます。

本業績見通しの前提となる第2四半期以降の為替レートについても、米ドル105円、ユーロ120円、人民元15.0円、豪ドル72円を据え置きます。

(3) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

[資産]

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、△3.2%、195億1千3百万円減少し、5,932億6千6百万円となりました。これは主として棚卸資産が90億2千8百万円、現金及び現金同等物が88億3千4百万円増加したものの、営業債権が363億5千万円減少したことによります。

非流動資産は、前連結会計年度末に比べて、1.4%、78億2千4百万円増加し、5,626億1千2百万円となりました。これは主として有形固定資産が55億6千2百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて、△1.0%、116億8千9百万円減少し、1兆1,558億7千8百万円となりました。

[負債]

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、△0.5%、17億6千4百万円減少し、3,696億2百万円となりました。これは主として社債及び借入金が182億1千万円増加したものの、営業債務及びその他の債務が208億5千1百万円減少したことによります。

非流動負債は、前連結会計年度末に比べて、△5.2%、142億2千1百万円減少し、2,568億6千9百万円となりました。これは主として社債及び借入金が132億7千3百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、△2.5%、159億8千5百万円減少し、6,264億7千1百万円となりました。

[資本]

資本合計は、前連結会計年度末に比べて、0.8%、42億9千6百万円増加し、5,294億7百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は709億9千9百万円となり、当連結会計年度期首より88億3千4百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

[営業活動に関するキャッシュ・フロー]

当第1四半期連結累計期間の営業活動に関するキャッシュ・フローは、四半期利益11億9千4百万円をベースに、減価償却費109億7千5百万円、売掛金、受取手形及び契約資産の減少398億2千万円を計上する一方、買掛金及び支払手形の減少191億8千3百万円、棚卸資産の増加28億1千5百万円、法人所得税の支払22億1千4百万円等の計上がありました。

この結果、当第1四半期連結累計期間は214億4千1百万円の収入となり、前第1四半期連結累計期間に比べて収入が377億6千5百万円増加しました。

[投資活動に関するキャッシュ・フロー]

当第1四半期連結累計期間の投資活動に関するキャッシュ・フローは、主として、有形固定資産の取得82億5千7百万円があったことで92億7千万円の支出となり、前第1四半期連結累計期間と比べて17億3千4百万円支出が減少しました。

これにより、営業活動に関するキャッシュ・フローと、投資活動に関するキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは121億7千1百万円の収入となりました。

[財務活動に関するキャッシュ・フロー]

当第1四半期連結累計期間の財務活動に関するキャッシュ・フローは、主として、社債及び長期借入金の減少7億4千4百万円、リース負債の返済35億8千6百万円、配当金の支払(非支配持分株主への配当金を含む)5億5千2百万円等があったことにより42億8千4百万円の支出となり、前第1四半期連結累計期間と比べて223億9百万円収入が減少しました。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	62,165	70,999
営業債権	207,843	171,493
契約資産	4,701	4,723
棚卸資産	301,222	310,250
その他の金融資産	20,309	19,999
その他の流動資産	16,539	15,742
小計	612,779	593,206
売却目的で保有する資産	—	60
流動資産合計	612,779	593,266
非流動資産		
有形固定資産	315,465	321,027
使用権資産	57,853	57,709
無形資産	37,883	39,670
のれん	30,538	32,270
持分法で会計処理されている投資	33,177	33,357
営業債権	39,572	39,116
繰延税金資産	15,094	14,712
その他の金融資産	16,394	16,199
その他の非流動資産	8,812	8,552
非流動資産合計	554,788	562,612
資産の部合計	1,167,567	1,155,878

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	173,872	153,021
リース負債	12,996	12,290
契約負債	6,593	6,479
社債及び借入金	160,447	178,657
未払法人所得税等	4,756	4,815
その他の金融負債	10,019	11,989
その他の流動負債	2,683	2,351
流動負債合計	371,366	369,602
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	5,965	5,021
リース負債	47,795	47,604
契約負債	2,282	2,032
社債及び借入金	178,496	165,223
退職給付に係る負債	17,084	16,978
繰延税金負債	6,119	4,950
その他の金融負債	3,255	3,737
その他の非流動負債	10,094	11,324
非流動負債合計	271,090	256,869
負債の部合計	642,456	626,471
資本の部		
親会社株主持分		
資本金	81,577	81,577
資本剰余金	80,475	80,412
利益剰余金	347,668	342,765
その他の包括利益累計額	△33,101	△25,398
自己株式	△3,082	△3,083
親会社株主持分合計	473,537	476,273
非支配持分	51,574	53,134
資本の部合計	525,111	529,407
負債・資本の部合計	1,167,567	1,155,878

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

四半期連結累計期間

要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	234,696	170,157
売上原価	△167,782	△130,582
売上総利益	66,914	39,575
販売費及び一般管理費	△44,012	△36,635
調整後営業利益	22,902	2,940
その他の収益	1,532	772
その他の費用	△760	△1,200
営業利益	23,674	2,512
金融収益	632	889
金融費用	△3,393	△1,719
持分法による投資損益	713	105
税引前四半期利益	21,626	1,787
法人所得税費用	△6,088	△593
四半期利益	15,538	1,194
四半期利益の帰属		
親会社株主持分	13,646	201
非支配持分	1,892	993
四半期利益	15,538	1,194
基本的1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益 (円)	64.17	0.95
希薄化後1株当たり親会社株主に帰属する四半期利 益(円)	64.17	0.95

要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	15,538	1,194
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する		
金融資産の公正価値の純変動額	304	103
確定給付制度の再測定	—	—
持分法のその他の包括利益	1	△1
純損益に組み替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△12,665	8,699
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動額	539	△195
持分法のその他の包括利益	△34	△312
その他の包括利益合計	△11,855	8,294
四半期包括利益合計	3,683	9,488
親会社株主持分	3,972	7,904
非支配持分	△289	1,584

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

（単位：百万円）

	親会社株主持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の包括利益累計額		
				確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動額
2019年4月1日	81,577	81,991	328,344	△2,330	7,118	213
会計方針の変更による累積的影響額			△1,447			
会計方針の変更を反映した当期首残高	81,577	81,991	326,897	△2,330	7,118	213
四半期利益			13,646			
その他の包括利益				1	304	539
四半期包括利益	—	—	13,646	1	304	539
自己株式の取得						
支払配当金			△12,121			
持分変動による増減額			△150			
利益剰余金への振替			△1	3	△2	
非支配株主に係る売建プット・オプション負債の変動		△1,480				
持分所有者との取引合計	—	△1,480	△12,272	3	△2	—
2019年6月30日	81,577	80,511	328,271	△2,326	7,420	752

（単位：百万円）

	親会社株主持分				非支配持分	資本の部 合計
	その他の包括利益累計額		自己株式	合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計				
2019年4月1日	△7,429	△2,428	△3,077	486,407	56,254	542,661
会計方針の変更による累積的影響額		—		△1,447	△39	△1,486
会計方針の変更を反映した当期首残高	△7,429	△2,428	△3,077	484,960	56,215	541,175
四半期利益		—		13,646	1,892	15,538
その他の包括利益	△10,518	△9,674		△9,674	△2,181	△11,855
四半期包括利益	△10,518	△9,674	—	3,972	△289	3,683
自己株式の取得		—	△1	△1		△1
支払配当金		—		△12,121		△12,121
持分変動による増減額		—		△150		△150
利益剰余金への振替		1		—		—
非支配株主に係る売建プット・オプション負債の変動		—		△1,480	36	△1,444
持分所有者との取引合計	—	1	△1	△13,752	36	△13,716
2019年6月30日	△17,947	△12,101	△3,078	475,180	55,962	531,142

当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

（単位：百万円）

	親会社株主持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の包括利益累計額		
				確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動額
2020年4月1日	81,577	80,475	347,668	△1,933	5,700	228
四半期利益			201			
その他の包括利益					102	△195
四半期包括利益	—	—	201	—	102	△195
自己株式の取得						
支払配当金			△5,104			
持分変動による増減額						
利益剰余金への振替						
非支配株主に係る売建プット・オプション負債の変動		△63				
持分所有者との取引合計	—	△63	△5,104	—	—	—
2020年6月30日	81,577	80,412	342,765	△1,933	5,802	33

（単位：百万円）

	親会社株主持分				非支配持分	資本の部 合計
	その他の包括利益累計額		自己株式	合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計				
2020年4月1日	△37,096	△33,101	△3,082	473,537	51,574	525,111
四半期利益		—		201	993	1,194
その他の包括利益	7,796	7,703		7,703	591	8,294
四半期包括利益	7,796	7,703	—	7,904	1,584	9,488
自己株式の取得		—	△1	△1		△1
支払配当金		—		△5,104	△28	△5,132
持分変動による増減額		—		—		—
利益剰余金への振替		—		—		—
非支配株主に係る売建プット・オプション負債の変動		—		△63	4	△59
持分所有者との取引合計	—	—	△1	△5,168	△24	△5,192
2020年6月30日	△29,300	△25,398	△3,083	476,273	53,134	529,407

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	15,538	1,194
減価償却費	9,753	10,975
無形資産償却費	957	777
減損損失	—	24
法人所得税費用	6,088	593
持分法による投資損益	△713	△105
固定資産売却等損益	△169	△12
金融収益	△632	△889
金融費用	3,393	1,719
売掛金、受取手形及び契約資産の増減	6,315	39,820
ファイナンス・リース債権の増減	132	2,031
棚卸資産の増減	△20,850	△2,815
買掛金及び支払手形の増減	△8,287	△19,183
退職給付に係る負債の増減	66	△280
その他	△16,853	△9,879
小計	△5,262	23,970
利息の受取	511	481
配当金の受取	3,221	511
利息の支払	△1,445	△1,307
法人所得税の支払	△13,349	△2,214
営業活動に関するキャッシュ・フロー	△16,324	21,441
有形固定資産の取得	△9,258	△8,257
有形固定資産の売却	251	189
無形資産の取得	△2,324	△1,093
有価証券及びその他の金融資産(子会社及び持分法で 会計処理されている投資を含む)の売却	347	—
短期貸付金の増減	△16	4
長期貸付金の回収	3	1
その他	△7	△114
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△11,004	△9,270
短期借入金の増減	63,637	599
社債及び長期借入金による調達	5,324	4,419
社債及び長期借入金の返済	△35,939	△5,163
リース負債の返済	△2,892	△3,586
配当金の支払	△12,125	△550
非支配持分株主への配当金の支払	—	△2
その他	20	△1
財務活動に関するキャッシュ・フロー	18,025	△4,284
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△1,555	947
現金及び現金同等物の増減	△10,858	8,834
現金及び現金同等物期首残高	67,347	62,165
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金 同等物への増減	△4	—
現金及び現金同等物期末残高	56,485	70,999

- (5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報)

①報告セグメントの概要

事業セグメントは、独立した財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績の検討のため、定期的に評価を行う対象とする当連結グループの構成単位です。報告セグメントは事業セグメントを基礎に決定しています。

当連結グループは、製品及びサービスの性質、顧客の類型又は種類等及び経済的特徴の類似性を総合的に勘案し、報告セグメントを、油圧ショベル、超大型油圧ショベル、ホイールローダー等の製造、販売及びこれに関連する部品サービスの販売により建設機械に関連する一連のトータルライフサイクルの提供を主たる目的とした建設機械ビジネスセグメントと、建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売及びサービスソリューションの提供を主たる目的としたソリューションビジネスセグメントの2区分に集約化しています。

②報告セグメントの収益、損益及びその他の項目

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1, 2)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	建設機械 ビジネス	ソリュー ション ビジネス	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	211,269	23,427	234,696	—	234,696
セグメント間の売上収益	2	597	599	△599	—
合計	211,271	24,024	235,295	△599	234,696
調整後営業利益	20,736	2,166	22,902	—	22,902
営業利益	21,448	2,226	23,674	—	23,674
金融収益	—	—	—	632	632
金融費用	—	—	—	△3,393	△3,393
持分法による投資損益	713	—	713	—	713
税引前四半期利益	22,161	2,226	24,387	△2,761	21,626

(注1) 調整額は、セグメント間取引消去額、及び事業セグメントに帰属しない全社に係る金額です。

(注2) セグメント間取引は独立企業間価格で行っています。

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1, 2)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	建設機械 ビジネス	ソリュー ション ビジネス	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	150,222	19,935	170,157	—	170,157
セグメント間の売上収益	1	442	443	△443	—
合計	150,223	20,377	170,600	△443	170,157
調整後営業利益	963	1,977	2,940	—	2,940
営業利益	881	1,631	2,512	—	2,512
金融収益	—	—	—	889	889
金融費用	—	—	—	△1,719	△1,719
持分法による投資損益	105	—	105	—	105
税引前四半期利益	986	1,631	2,617	△830	1,787

(注1) 調整額は、セグメント間取引消去額、及び事業セグメントに帰属しない全社に係る金額です。

(注2) セグメント間取引は独立企業間価格で行っています。